

## (作品介绍)

一年目の出会い。

(2011年 映画『まほろ駅前多田便利軒』)

二年目の友情。

(2013年 ドラマ『まほろ駅前番外地』)

そして、三年目の災難！

瑛太×松田龍平、夢の競演ふたたび！

累計120万部突破！三浦しをんのベストセラーシリーズ最新作、待望の映画化！

## (INTRODUCTION)

「多田～」「行天！」—お互いを苗字で呼び合う三十路男の便利屋と助手(という名の居候)コンビ。その正体は高校時代の同級生にして、ともにパツイチの腐れ縁。責任感が強く他人を放っておけないその優しい性格から、客の依頼だけでなく人生まで背負い込んでしまう多田啓介と、マイペースで風来坊、脱力しながらケンカにはめっぽう強い行天春彦は、正反対なようでなぜか一緒にいる。まほろ駅前の事務所を訪れるのは大人から子供までワケありの男女と、警察では解決できない怪しい頼みごとばかり。そう、「困ったときは多田便利軒」。そんな二人の周りでは、今日も絶賛トラブル発生中で……!?

直木賞作家・三浦しをんが生み出したこの名コンビを、瑛太&松田龍平という、それぞれが単独で主演を張る若手スター俳優の二度とはあり得ないW主演で映画化したのが『まほろ駅前多田便利軒』(11)だった。2013年には同キャストのテレビドラマ版『まほろ駅前番外地』が深夜枠では異例の人気を博し話題に。そして2014年、映画版の監督・スタッフ・キャストが再び集結し、『まほろ～』の物語に新たな一章が生まれた。

多田と行天が再会した運命の夜から三年目、共同生活もややマンネリに突入した新年のある日。ルームシェアと言うにはあまりに無骨な、独身男二人の住まいを兼ねる事務所に、小さなお客がやって来る—。といってもそこは多田便利軒、厄介な事情と無縁なわけがない。現れたのは一度も会ったことのない行天の娘・はる(5歳)だったのだ！ 慣れない子供の世話に悪戦苦闘しながらはるとの絆を深めていく二人だったが、そのころ巷では「家庭と健康食品協会」(HHFA)を名乗る怪しげな団体がまほろの住人たちをねらっていた。さらにはまさかのバスジャックの発生と共に知られざる行天の過去も明かされ、便利軒は最大の危機に巻き込まれる。多田と行天の関係は？ そして多田の不器用な恋の行方は？ クセ者揃いのまほろの町を舞台に、NOと言えない二人の男が、愛と笑いと涙に振り回される怒濤のドラマを駆け抜ける！